

# 冬季転倒防止に集中!!

「STOP!転倒災害プロジェクト神奈川2022」推進中

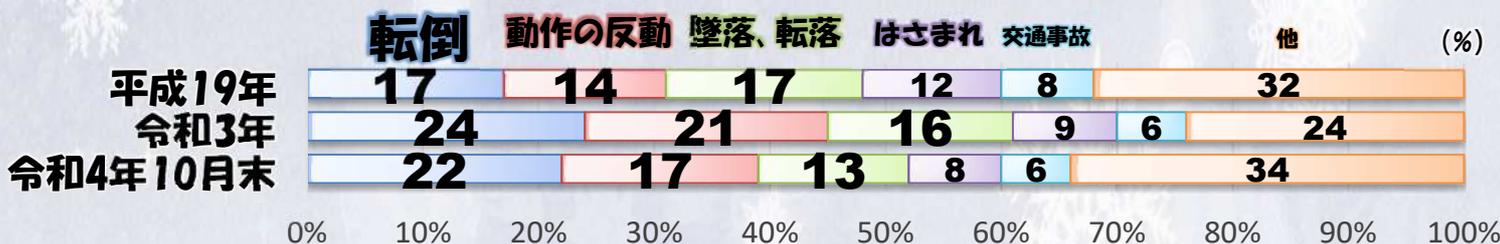
冬季は積雪や凍結による転倒リスクが高まります。  
降雪後の残雪にも注意を!



骨折が多く、他の傷病に比べ重篤な災害になる傾向があります。



令和4年1月～3月に発生した転倒災害のうち、特に1月は降雪等の影響が半分に近い発生件数でした。



※ グラフの件数は神奈川県内の労働災害発生状況です。(新型コロナウイルス関係を除く)

転倒災害は、平成19年から令和3年で7%増加しています。

令和4年10月末暫定値も転倒災害は22%を占め、冬季転倒での増加が懸念されます。

洗濯物の運搬中、  
凍結した路面に足を滑らせて転倒。  
日の出前で薄暗かったため  
路面の凍結に気づかなかった。

## 事例1

トラックの後部リフトを使った荷降ろし作業中、リフトに足を乗せたときに、靴裏についた雪で滑って転倒。



## 事例2

2月は、転倒災害防止の重点取組期間です!



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

神奈川労働局

労働基準監督署



皆さまの職場には似たような危険はありませんか？  
転倒災害を防ぐには、次の取り組みが有効です。

- 1 作業場所の整理整頓
- 2 作業場所の清掃
- 3 毎日の運動



以下のチェック項目で事業場を点検してみましょう。

↑ ↑  
「ころばNICEかながわ体操」

	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った対滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などを、標識などで注意喚起していますか	<input type="checkbox"/>
8	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

冬季の積雪や凍結による転倒災害を防ぎましょう。

① 天気予報に気を配る

寒波が予想される場合などには、労働者に周知し早めの対策をとりましょう。

② 時間に余裕をもって歩行、作業

悪天候による交通機関の遅れが見込まれる場合は、時間に余裕をもって出勤するようにし、落ちついて作業をするように心がけましょう。

屋外では小さな歩幅で靴の裏全面を地面につけて歩くようにしましょう。

③ 駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などにも注意

駐車場内や職場までの通路に除雪や融雪剤の散布を行いましょう。

出入口には転倒防止用マットを敷き、照明設備で照度を確保しましょう。

④ 職場の危険マップ作成、適切な履物選択、歩行方法などの教育

転倒しそうな場所の情報を収集し、危険マップにより労働者に周知しましょう。

また、作業に適した履物選びや雪道や凍った路面上での歩き方を教育しましょう。